

岡山県感染症週報 2013 年 第 3 週 (1 月 14 日～1 月 20 日)

◎岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です。

◎岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症警報』発令中です。

◆2013 年 第 3 週 (1/14～1/20) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第 1 週 2 類感染症 結核 1 名 (90 代 女)
 第 3 週 4 類感染症 レジオネラ症 1 名 (80 代 男)
 5 類感染症 アメーバ赤痢 1 名 (40 代 男)
 風しん 1 名 (30 代 男)

■定点把握感染症の発生状況

○インフルエンザは、県全体で 1,291 名 (定点あたり 5.81 → 15.37 人) の報告があり、大幅に増加しました。
 ○感染性胃腸炎は、前週より減少しました (定点あたり 10.48 → 8.43 人)。

【第 4 週 速報】

○腸管出血性大腸菌感染症 1 名 (O157:10 代 男) の発生がありました。(1 月 23 日)
 ○インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が 107 施設でありました。(1 月 21 日～1 月 24 日まで)

1. **インフルエンザ**は、県全体で 1,291 名 (定点あたり 15.37 人) の報告があり、前週 (5.81 人) より大幅に増加しました。第 3 週からインフルエンザとみられる学校等の臨時休業報告も急増しており、県内全域で急速に流行が拡大しています。岡山県では 1 月 17 日に「インフルエンザ注意報」を発令し、ひきつづき注意を呼びかけています。県内の詳しい発生状況などは『インフルエンザ情報』をご覧ください。
 全国では、第 2 週 (1/7～1/13) の定点あたり報告数が 12.07 人となり、前週 (3.91 人) より大きく増加しました。国の注意報レベルとしている定点あたり 10.00 人を越え、全都道府県で患者増加がつづいています。
2. **感染性胃腸炎**の定点あたり患者数は、前週より減少しました (定点あたり 10.48 → 8.43 人)。県内の発生状況など詳しくは『感染性胃腸炎情報』をご覧ください。
3. **腸管出血性大腸菌感染症**は、2013 年は第 3 週までに 1 名の発生がありました。第 4 週にも、1 名が報告されており、冬でも患者が発生しています。食肉は中心部まで火を通すなど、通常の食中毒対策を励行し、感染予防に努めましょう。
4. **風しん**は、1 名の発生がありました。
 昨年 1 年間の風しんの全国累積報告数は 2,353 名で、風しんが全数把握感染症に変更された 2008 年以降で最も発生の多かった 2011 年の累積報告数 (371 人) の 6.3 倍の届出があり、大きな流行になりました。今年も、昨年同様、関東地方、近畿地方で患者発生がつづいており、2013 年は 1 月 16 日までに 79 名が届出されています。患者の中心は 20～40 代の男性で全体の約 75% を占めています。
 なお、岡山県では昨年 1 年間に 20～40 代の男性 6 名の届出がありました。

◎インフルエンザ、感染性胃腸炎、RSウイルス感染症など冬に流行がみられる感染症が増加しています。

外出後や調理前・食事前の手洗い、うがいを励行し、人混みでのマスクの着用など感染予防に努めてください。また、感染した時は、咳エチケットを守るなど他の人にうつさないように気をつけ、体調の悪いときは早めに医療機関を受診してください。

※**咳エチケット**：人に向かって咳やくしゃみをしないこと。とっさにせきやくしゃみが出そうなときは、周囲の人から顔をそらし、そで口で口をおおう、また用意があればティッシュなどで口・鼻をおおいます。咳やくしゃみがつづく時はマスクを着用してください。鼻水・痰などを含んだティッシュはすぐにナイロン袋に入れて密封したり、ふた付きのゴミ箱に捨て、直ちに手を洗いましょう。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★★★★★	RSウイルス感染症		★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★★
感染性胃腸炎		★★★★★	水痘		★★
手足口病		★	伝染性紅斑		
突発性発疹		★★	百日咳		
ヘルパンギーナ			流行性耳下腺炎		★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎		★	クラミジア肺炎		★

【記号の説明】 前週からの推移:



:2倍以上の減少



:1.1~2倍未満の減少

:1.1未満の増減



:1.1~2倍未満の増加



:2倍以上の増加

発生状況: 空白:発生なし ★:僅か ★★:少し ★★★:やや多い ★★★★:多い ★★★★★:非常に多い

※今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。

インフルエンザ情報 2013 年 第 3 週 (1 月 14 日 ~ 1 月 20 日)

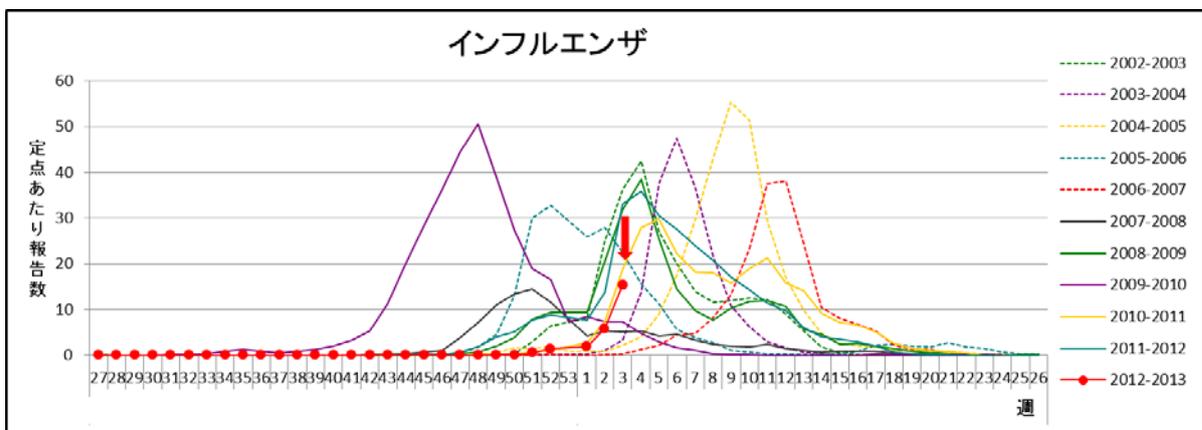
岡山県は「インフルエンザ注意報」発令中です。

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で 1,291 名 (定点あたり 5.81 → 15.37 人) の報告があり、大きく増加しました。岡山県は 1 月 17 日にインフルエンザ注意報を発令し、ひきつづき注意を呼びかけています。
- 県内で発生したインフルエンザ患者 14 名からインフルエンザウイルス AH3 型、1 名から A 型 (亜型不明) が検出されました。
- インフルエンザによる入院患者 20 名の報告がありました。
- インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が 39 施設でありました。

【第 4 週 速報】

- インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が、107 施設でありました。(1 月 21 日~1 月 24 日まで)
 ▽岡山市 42 ▽倉敷市 19 ▽備前地域 18 ▽備中地域 18 ▽備北地域 4 ▽真庭地域 1 ▽美作地域 5
- 県内で発生したインフルエンザ患者 2 名から AH3 型が検出されました。



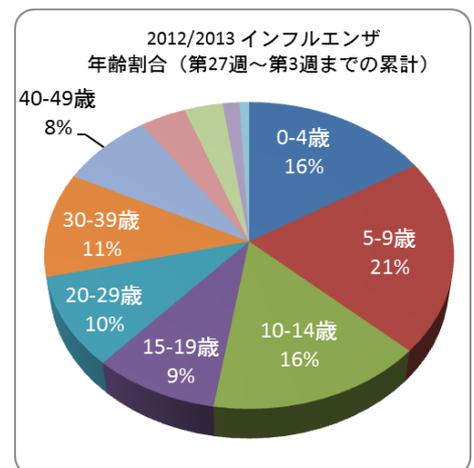
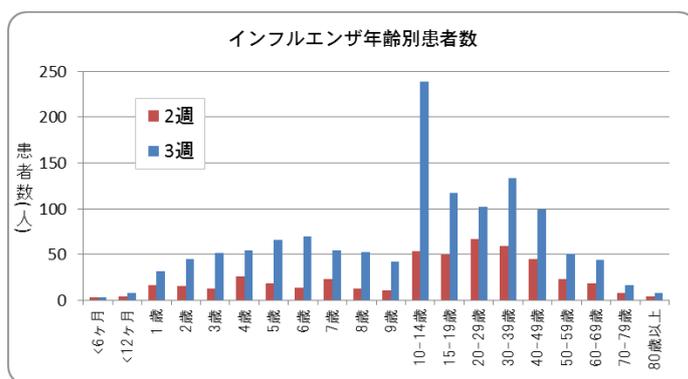
※インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ~ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

インフルエンザは、県全体で 1,291 名 (定点あたり 5.81 → 15.37 人) の報告があり、前週より大幅に増加しました (84 定点医療機関報告)。岡山県では 1 月 17 日に「インフルエンザ注意報」を発令し、ひきつづき注意喚起を図っています。地域別では、倉敷市 (9.69 → 23.44 人) で最も報告が多く、岡山市、備前地域、備中地域、美作地域で定点あたり 10.00 人を越え、大きな流行が発生する可能性がある発生レベル 2 になるなど、県全域で流行が急速に拡大しています。今シーズンの学校の臨時休業は、これまで 2 施設にとどまっていたが、第 3 週には 39 施設と急増しました。第 4 週も臨時休業が多発していることから、今後も幼稚園児、小学生、中学生を中心に患者の増加が懸念されます。

全国では、例年、1 月下旬から 2 月中旬にかけて流行のピークを迎えることが多いといわれています。岡山県でも同様の傾向であり、今後ピーク時期を迎えることから更なる注意が必要です。『手洗い・うがいを徹底する。』『人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用する。』『十分な睡眠を取る。』など、感染予防に努めて下さい。また症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。

1. 年齢別発生状況 第 3 週 (1/14~1/20)

幼稚園児・小学生・中学生に該当する年齢層で増加がみられます。また、20 歳以上の成人でも患者が増加していますので、全ての年齢層で注意が必要です。

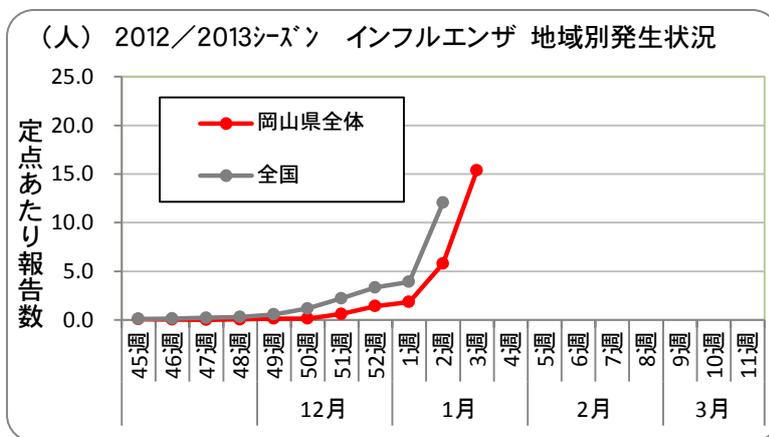


2. 地域別発生状況

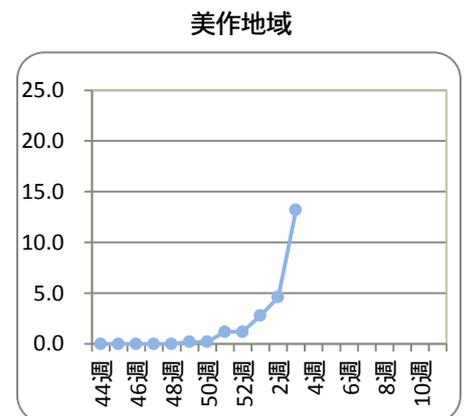
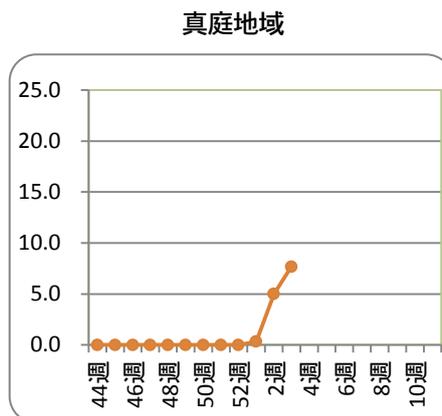
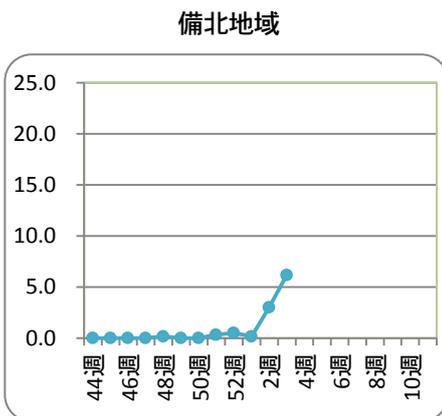
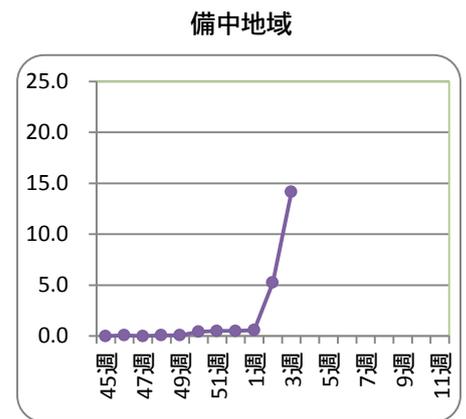
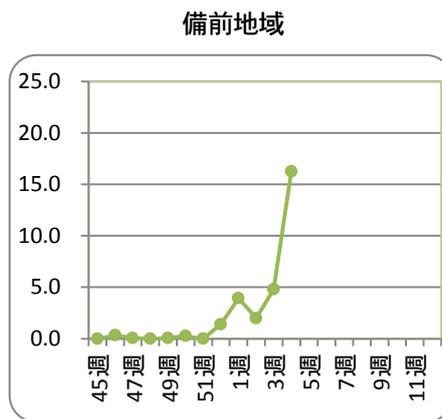
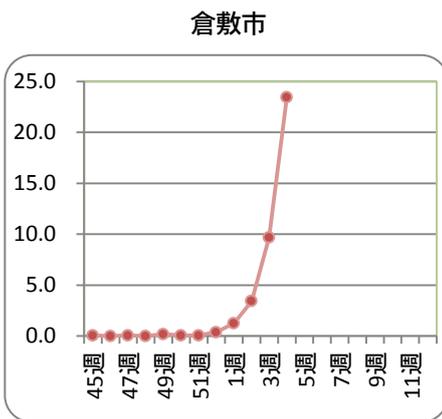
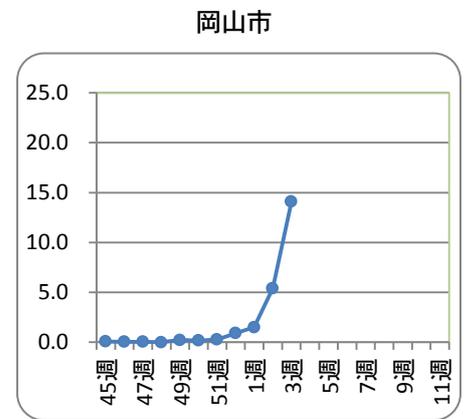
第3週 (1/14~1/20) 前週からの推移 (単位: 人)

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	1,291	↑	備 中	患者数	170	↑
	定点あたり	15.37			定点あたり	14.17	
岡山市	患者数	310	↑	備 北	患者数	37	↑
	定点あたり	14.09			定点あたり	6.17	
倉敷市	患者数	375	↑	真 庭	患者数	23	↑
	定点あたり	23.44			定点あたり	7.67	
備 前	患者数	244	↑	美 作	患者数	132	↑
	定点あたり	16.27			定点あたり	13.20	

【記号の説明】 前週からの推移: 2倍以上の減少 ↓ 1.1~2倍未満の減少 ↘ 1.1未満の増減 →
 1.1~2倍未満の増加 ↗ 2倍以上の増加 ↑ - : 未発生



全国集計第2週(1/7~1/13)の定点あたり患者数は12.07人となり、前週(3.91人)よりも大幅に増加しました。全都道府県で前週よりも増加がみられました。



3. インフルエンザウイルス検出状況 第3週 (1/14~1/20)

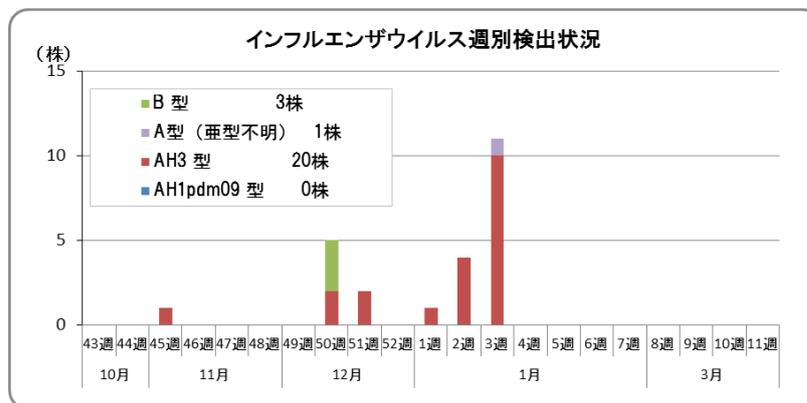
第3週、環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、県内で発生したインフルエンザ患者14名からAH3型が、1名からA型（亜型不明）が検出されました。これまでに検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が20株、A型（亜型不明）が1株、B型が3株です。

今回採取された散発事例及び集団感染事例は、全てAH3型が検出されましたが、簡易検査ではB型も検出されています。一度インフルエンザにかかっても、型の異なるインフルエンザウイルスに再び感染することがありますので、注意が必要です。

全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が最も多く88%、B型が8%、AH1pdm09型が4%の順になっており、昨シーズン同様AH3型が主流になっています。[（インフルエンザウイルス分離・検出速報 国立感染症情報センター）](#)

【ウイルス検出速報 第4週】

県内で発生したインフルエンザ患者2名からAH3型が検出されました。



ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別	備考
インフルエンザウイルス AH3 型	2013 年第 2 週	2013 年 1 月 7 日	岡山市	50 代	女	
インフルエンザウイルス AH3 型	2013 年第 2 週	2013 年 1 月 9 日	岡山市	20 代	女	
インフルエンザウイルス AH3 型	2013 年第 2 週	2013 年 1 月 10 日	岡山市	小学生	男	
インフルエンザウイルス AH3 型	2013 年第 2 週	2013 年 1 月 10 日	岡山市	小学生	女	
インフルエンザウイルス AH3 型	2013 年第 3 週	2013 年 1 月 15 日	岡山市	小学生	女	集団感染事例
インフルエンザウイルス AH3 型	2013 年第 3 週	2013 年 1 月 15 日	岡山市	小学生	女	集団感染事例
インフルエンザウイルス AH3 型	2013 年第 3 週	2013 年 1 月 15 日	瀬戸内市	小学生	男	集団感染事例
インフルエンザウイルス AH3 型	2013 年第 3 週	2013 年 1 月 15 日	瀬戸内市	小学生	男	集団感染事例
インフルエンザウイルス AH3 型	2013 年第 3 週	2013 年 1 月 15 日	瀬戸内市	小学生	女	集団感染事例
インフルエンザウイルス AH3 型	2013 年第 3 週	2013 年 1 月 15 日	瀬戸内市	小学生	男	集団感染事例
インフルエンザウイルス AH3 型	2013 年第 3 週	2013 年 1 月 15 日	瀬戸内市	小学生	男	集団感染事例
インフルエンザウイルス AH3 型	2013 年第 3 週	2013 年 1 月 15 日	美作市	10 代	男	集団感染事例
インフルエンザウイルス AH3 型	2013 年第 3 週	2013 年 1 月 15 日	美作市	10 代	男	集団感染事例
インフルエンザウイルス AH3 型	2013 年第 3 週	2013 年 1 月 17 日	赤磐市	小学生	女	集団感染事例
インフルエンザウイルス A 型 (亜型不明)	2013 年第 3 週	2013 年 1 月 17 日	赤磐市	小学生	女	集団感染事例

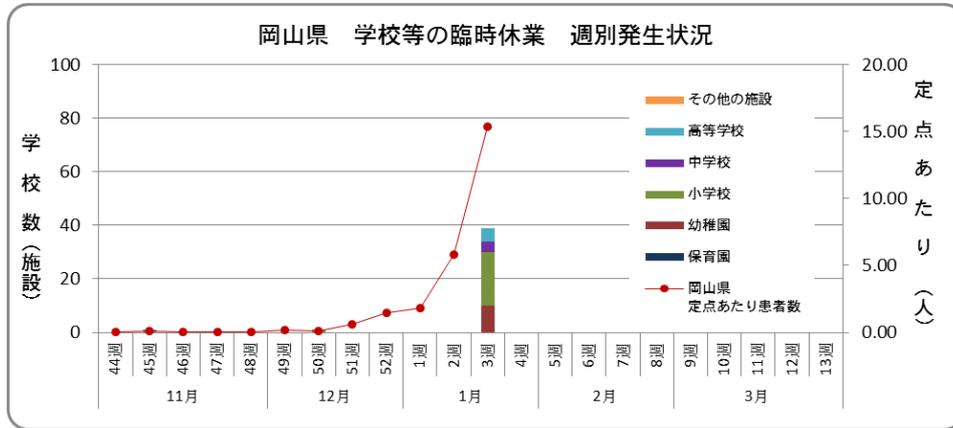
4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数 第3週 (1/14~1/20)

インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が 39 施設でありました。

倉敷市、備前地域、美作地域では、今シーズン初めてとなる臨時休業の報告がありました。

【第3週 臨時休業施設数】

▽岡山市 13 ▽倉敷市 6 ▽瀬戸内市 5 ▽井原市 4 ▽津山市 3 ▽総社市 3 ▽赤磐市 1 ▽備前市 1
▽美作市 1 ▽美咲町 1 ▽勝央町 1



1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳 第3週

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	510	533	370	389	39	41	1	1	12	12	26	28	H 24. 11. 6
岡山市	206	218	149	161	13	14	0	0	2	2	11	12	H24. 11. 6
倉敷市	60	60	42	42	6	6	1	1	2	2	3	3	H25. 1. 15
備前地域	96	96	68	68	7	7	0	0	3	3	4	4	H25. 1. 15
備中地域	68	79	58	65	7	8	0	0	4	4	3	4	H24. 12. 12
備北地域	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
真庭地域	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
美作地域	80	80	53	53	6	6	0	0	1	1	5	5	H25. 1. 15

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています

2) 臨時休業施設数の内訳

第3週：39 施設

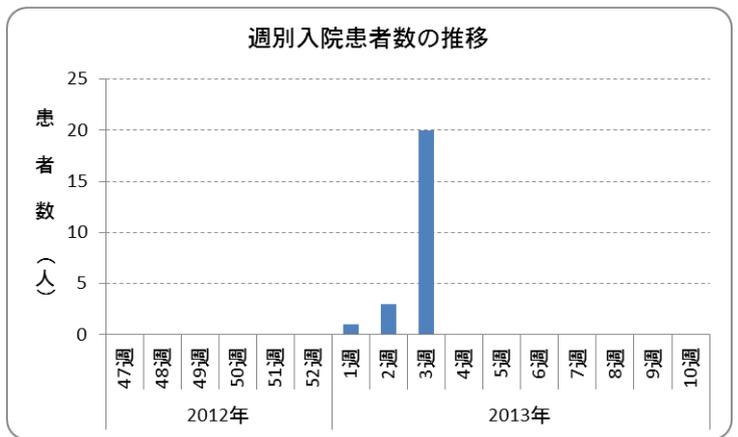
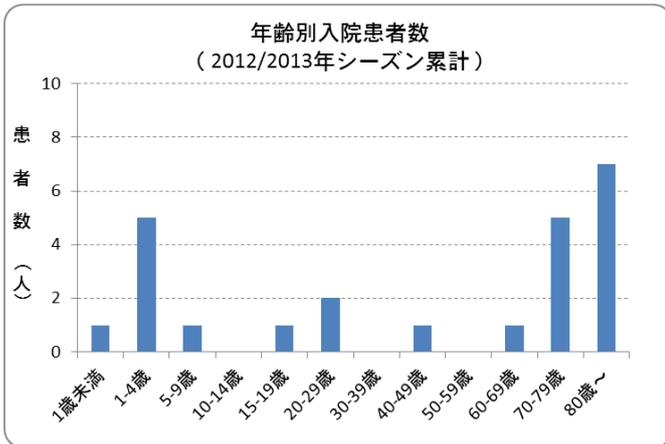
累計：41 施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	10	10	20	21	4	4	5	6	—	—

5. インフルエンザによる入院患者報告数 第3週 (1/14~1/20) (県内基幹定点 5 医療機関による報告)

インフルエンザによる入院患者 20 名 (幼児 5 名、10 代 1 名、20 代 1 名、40 代 1 名、60 代 1 名、70 代 4 名、80 代 7 名) の報告がありました。10 歳以下の幼児、70 歳以上の高齢者で入院患者が増加しています。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後、すぐ吐いてしまい元気がない、意識がはっきりせずうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。



【第3週 入院患者報告数】

年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数	1	4			1	1		1		1	4	7	20
ICU入室													
人工呼吸器の利用													
頭部CT検査(予定含)		1			1	1							3
頭部MRI検査(予定含)		1			1								2
脳波検査(予定含)													
いずれにも該当せず	1	3						1		1	4	7	17

*重複あり

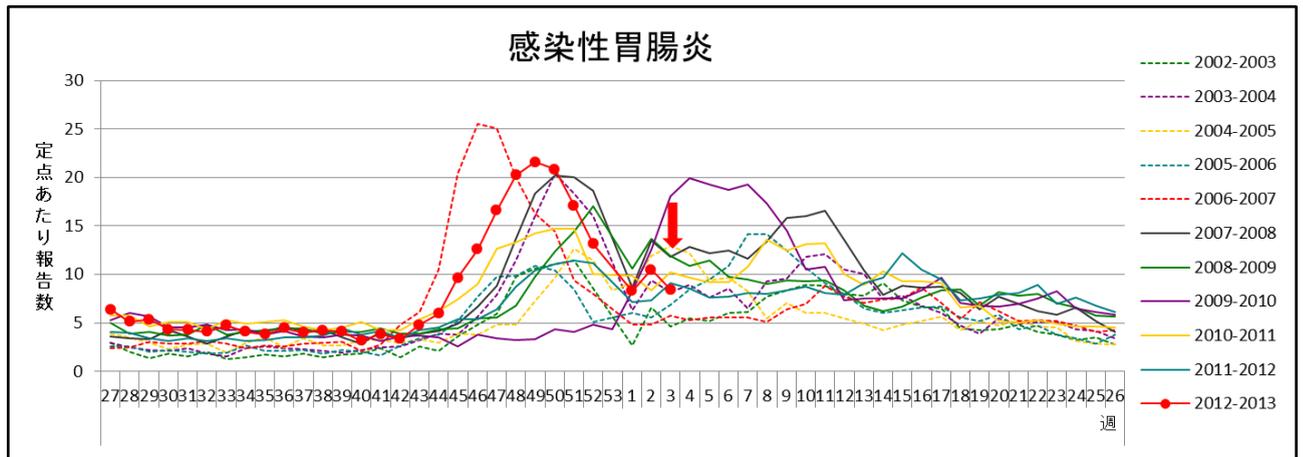
【平成24年9月3日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数	1	5	1		1	2		1		1	5	7	24
ICU入室													
人工呼吸器の利用													
頭部CT検査(予定含)		1	1		1	1							4
頭部MRI検査(予定含)		1			1								2
脳波検査(予定含)													
いずれにも該当せず	1	4				1		1		1	5	7	20

*重複あり

感染性胃腸炎情報 2013 年 第 3 週 (1 月 14 日 ~ 1 月 20 日)

○岡山県内の患者報告数は 455 名 (定点あたり 8.43 人) であり、前週より減少しました。(54 定点医療機関報告)

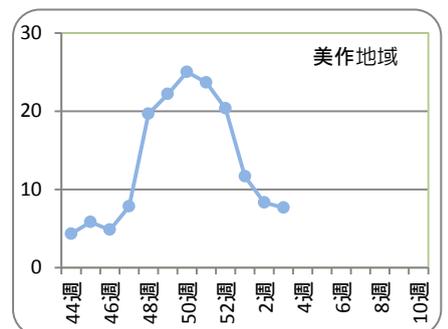
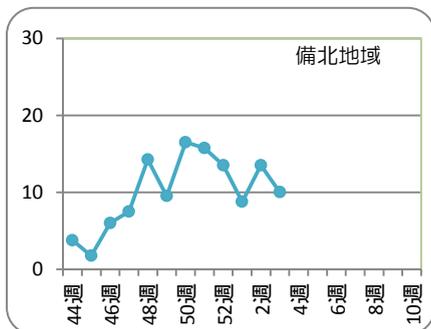
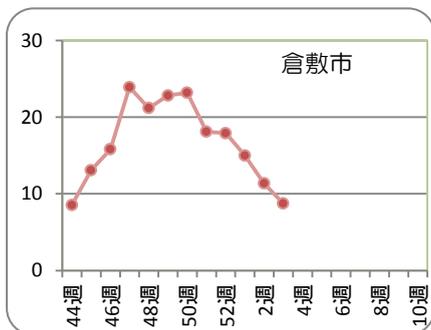
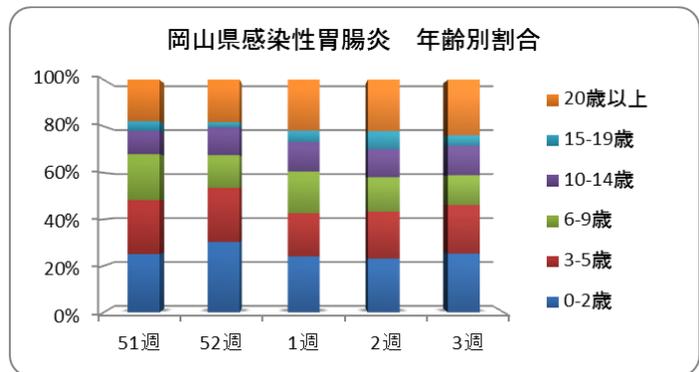
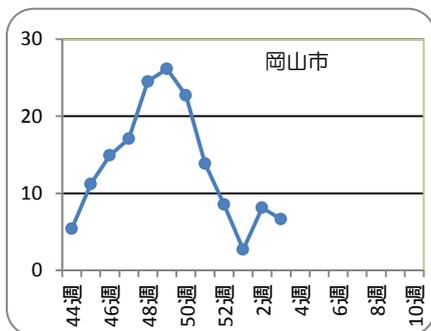


※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ~ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

感染性胃腸炎は、前週より減少しました (定点あたり 10.48 → 8.43 人)。備前地域 (11.00 人)、真庭地域 (12.00 人) などでは、定点あたり 10.00 人を越えており、患者が多い状態です。年齢別では、5 歳以下の幼児で 46% を占めています。また、20 歳以上の割合も全体の 24% を占めており、乳幼児、小児だけでなく、全ての年齢層で注意が必要です。

昨年 10 月下旬頃から始まった大きな流行のピークは過ぎましたが、今後も流行期がつづくことから、手洗いなど感染予防に努めてください。学校、医療機関、福祉施設などではひきつづき、手洗いの徹底や、下痢便・吐物の適切な処理などの感染予防と拡大防止に努めてください。

◆地域別・年齢別発生状況



保健所別報告患者数 2013年 3週 (2013/01/14~2013/01/20)

2013年1月22日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	1291	15.37	310	14.09	375	23.44	244	16.27	170	14.17	37	6.17	23	7.67	132	13.20
RSウイルス感染症	25	0.46	7	0.50	9	0.82	-	-	5	0.71	2	0.50	-	-	2	0.33
咽頭結膜熱	6	0.11	2	0.14	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	49	0.91	20	1.43	20	1.82	-	-	-	-	1	0.25	1	0.50	7	1.17
感染性胃腸炎	455	8.43	93	6.64	96	8.73	110	11.00	46	6.57	40	10.00	24	12.00	46	7.67
水痘	61	1.13	18	1.29	12	1.09	18	1.80	8	1.14	2	0.50	-	-	3	0.50
手足口病	3	0.06	1	0.07	-	-	-	-	1	0.14	-	-	1	0.50	-	-
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	21	0.39	10	0.71	5	0.45	1	0.10	-	-	1	0.25	-	-	4	0.67
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	13	0.24	1	0.07	2	0.18	6	0.60	2	0.29	-	-	-	-	2	0.33
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	0.17	1	0.20	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	4	0.80	-	-	2	2.00	-	-	-	-	2	2.00	-	-	-	-
クラミジア肺炎	1	0.20	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2013年 3週 (2013/01/14~2013/01/20)

2013年1月22日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	1291	15.37	310	14.09	375	23.44	244	16.27	170	14.17	37	6.17	23	7.67	132	13.20
咽頭結膜熱	6	0.11	2	0.14	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	49	0.91	20	1.43	20	1.82	-	-	-	-	1	0.25	1	0.50	7	1.17
感染性胃腸炎	455	8.43	93	6.64	96	8.73	110	11.00	46	6.57	40	10.00	24	12.00	46	7.67
水痘	61	1.13	18	1.29	12	1.09	18	1.80	8	1.14	2	0.50	-	-	3	0.50
手足口病	3	0.06	1	0.07	-	-	-	-	1	0.14	-	-	1	0.50	-	-
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	13	0.24	1	0.07	2	0.18	6	0.60	2	0.29	-	-	-	-	2	0.33
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	0.17	1	0.20	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-

濃黄セルに赤字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2 を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2013年 第3週 2013/01/14~2013/01/20)

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
インフルエンザ	1291	3	8	32	45	52	55	66	70	55	53	42	239	117	102	133	99	51	44	17	8

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~
RSウイルス感染症	25	5	6	8	5	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	6	-	-	2	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	49	-	1	4	4	4	5	9	5	5	3	1	4	-	4
感染性胃腸炎	455	5	23	60	27	33	32	30	15	11	16	16	58	20	109
水痘	61	2	4	8	9	10	8	4	4	2	2	2	4	-	2
手足口病	3	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	21	1	5	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	13	-	-	-	1	3	2	1	-	-	3	1	-	1	1

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	4	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
クラミジア肺炎	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

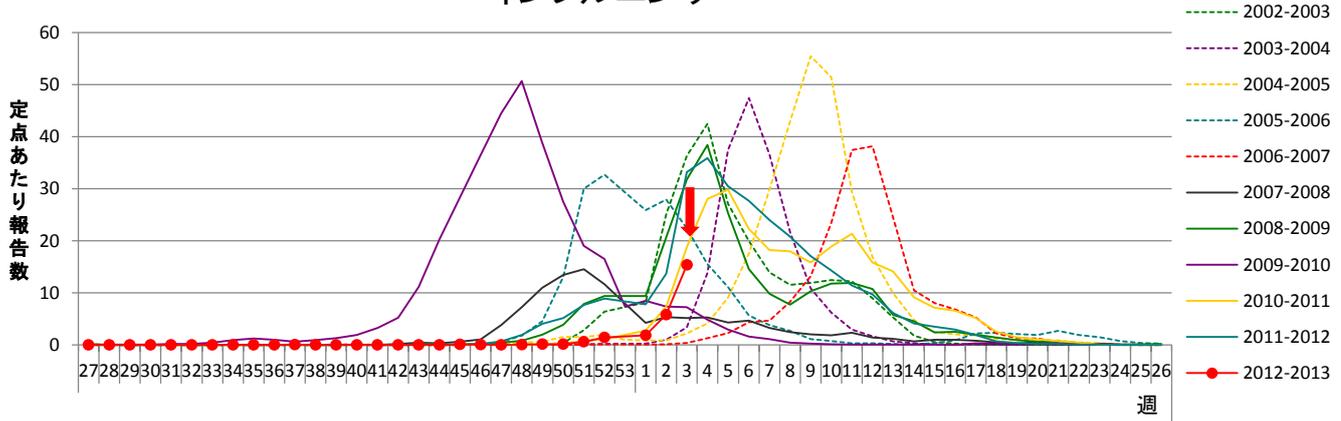
(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

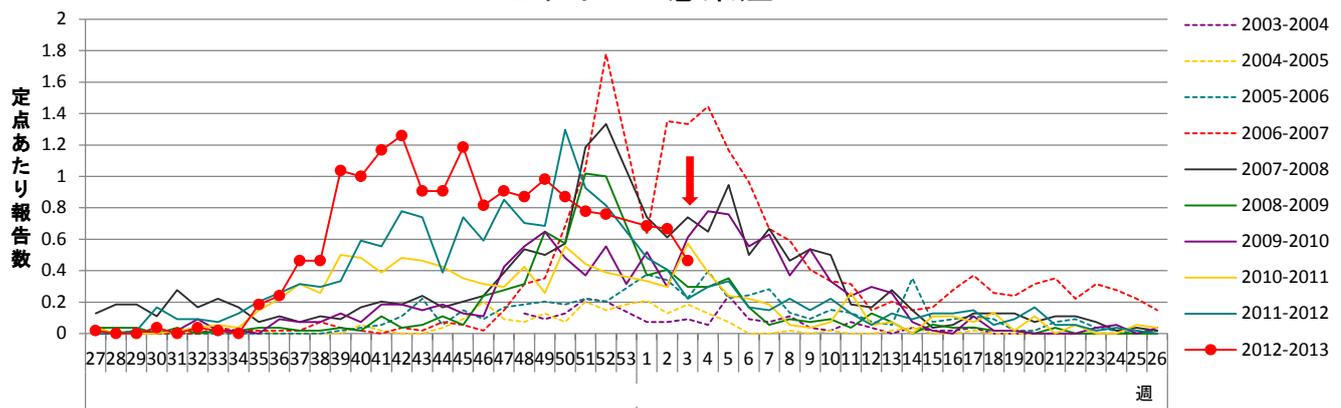
2013年 3週

分類	疾病名	2013			疾病名	2013			疾病名	2013		
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	-	3	475	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	-	腸管出血性大腸菌感染症	-	1	169
	腸チフス	-	-	1	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	-	-	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	-	2
	エキノкокクス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-
	つつが虫病	-	-	2	デング熱	-	-	1	東部ウマ脳炎	-	-	-
	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-
	日本紅斑熱	-	-	-	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-	ボツリヌス症	-	-	-
	マラリア	-	-	-	野兔病	-	-	-	ライム病	-	-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-
	レジオネラ症	1	1	29	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-
	五類	アメーバ赤痢	1	1	11	ウイルス性肝炎*3	-	-	7	急性脳炎*4	-	-
クリプトスポリジウム症		-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	-	1	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	-	1
後天性免疫不全症候群		-	-	15	ジアルジア症	-	-	3	髄膜炎菌性髄膜炎	-	-	-
先天性風しん症候群		-	-	-	梅毒	-	-	7	破傷風	-	-	1
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	2	風しん	1	1	6
麻しん		-	-	6		-	-	-		-	-	-

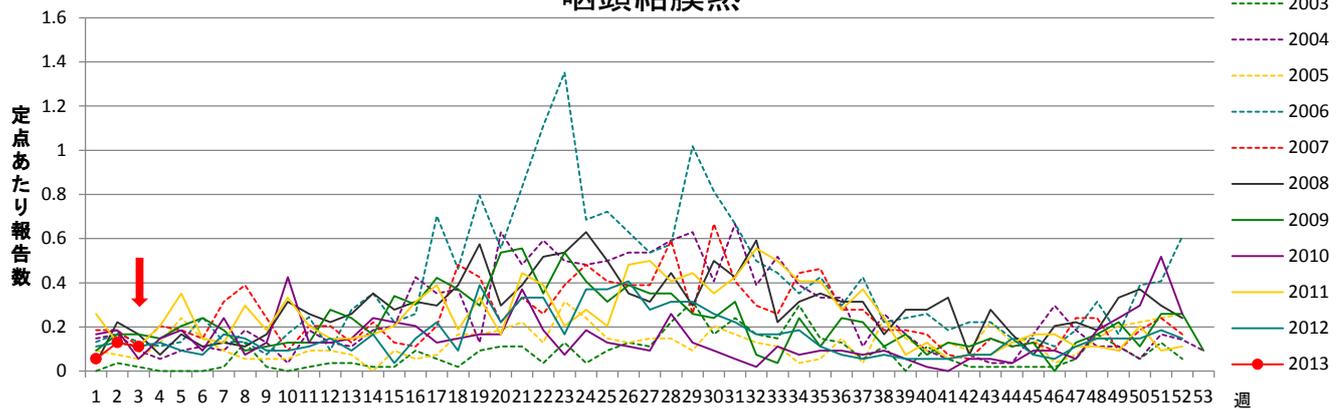
インフルエンザ



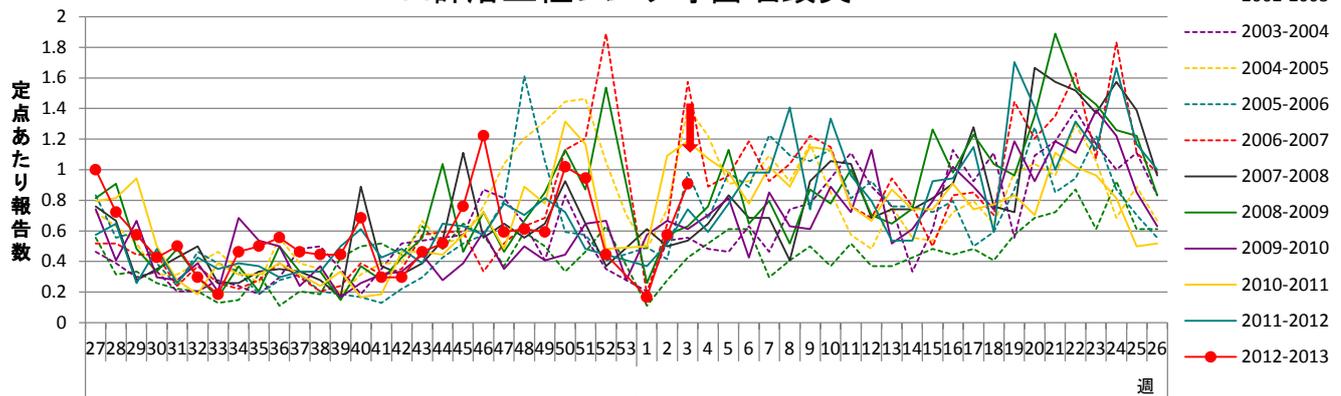
RSウイルス感染症



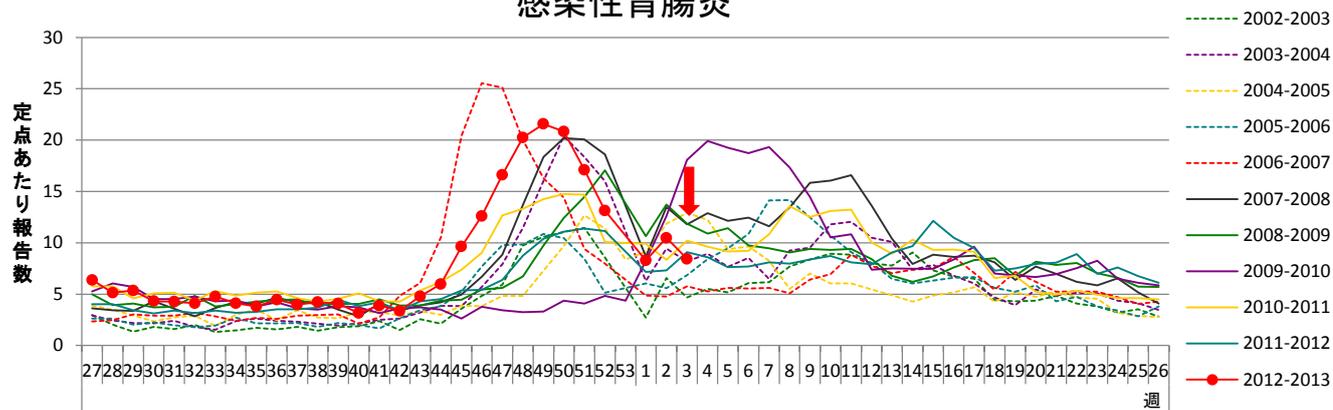
咽頭結膜熱



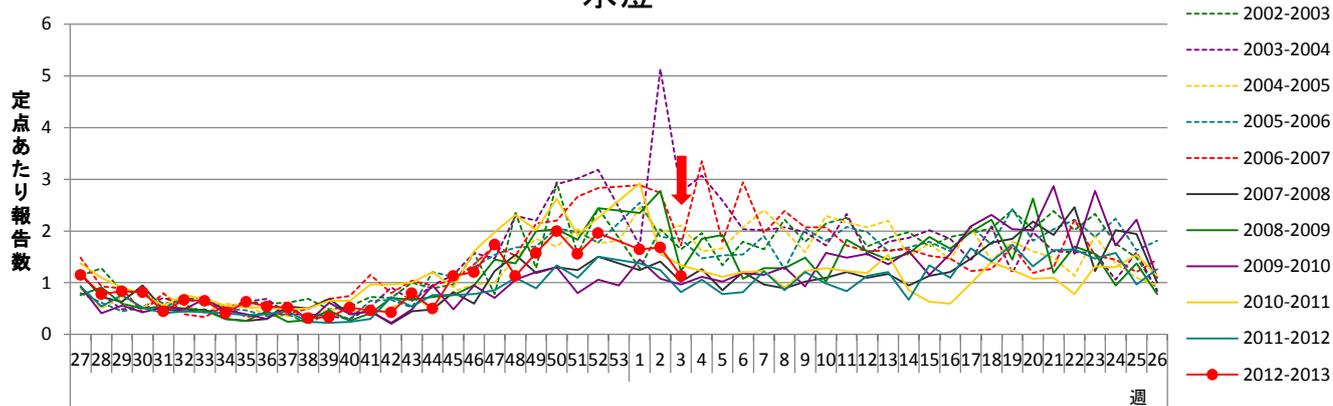
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



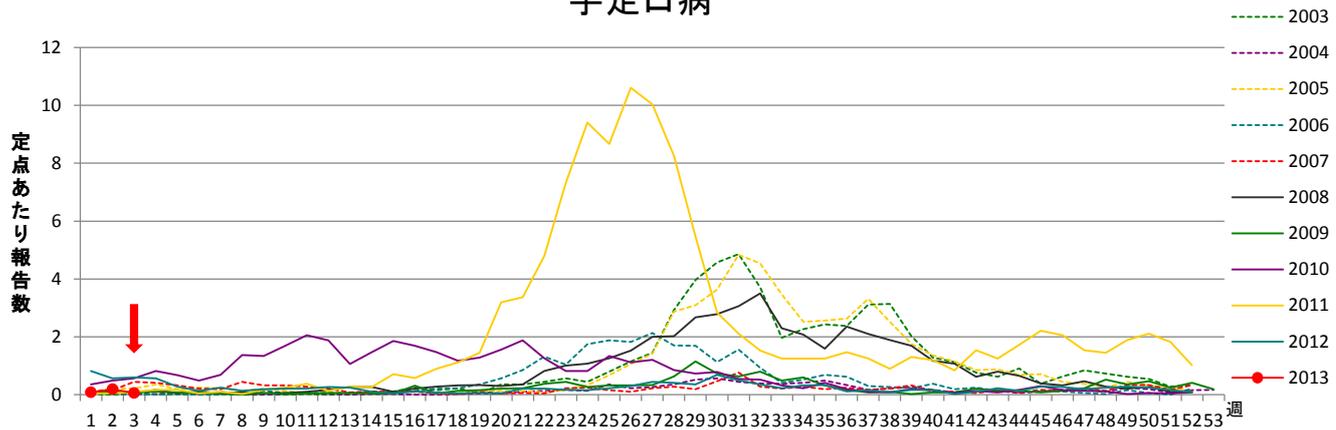
感染性胃腸炎



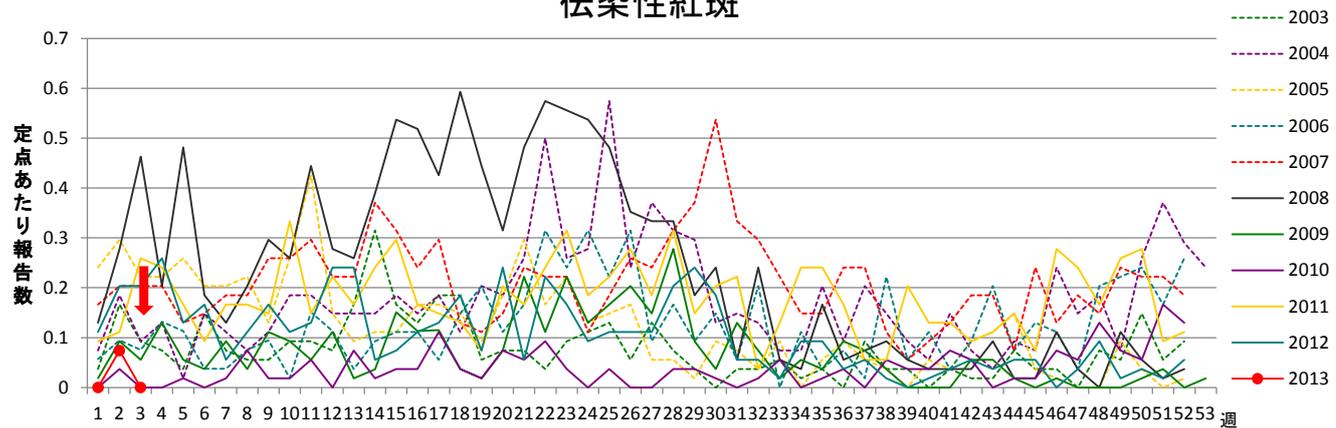
水痘



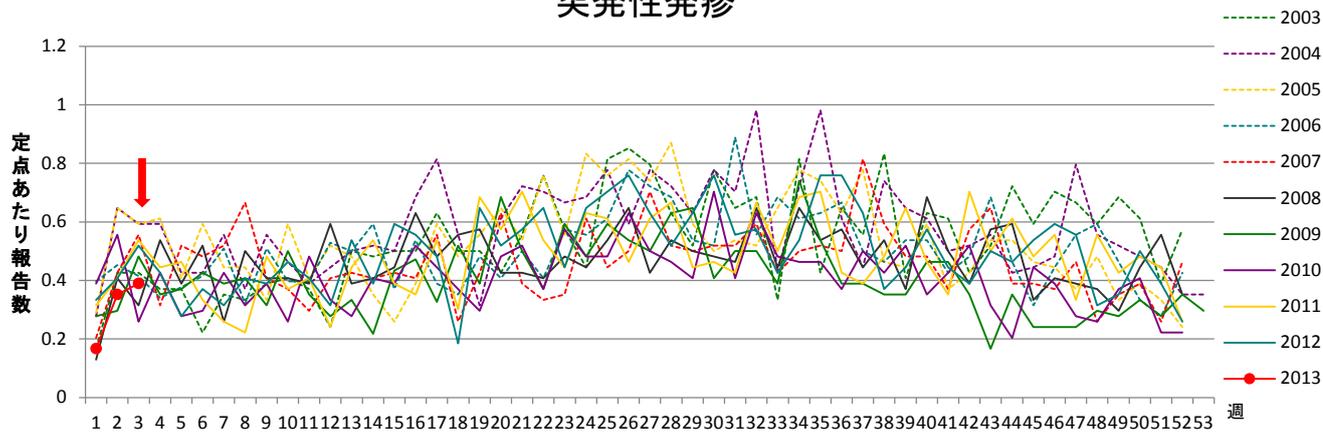
手足口病



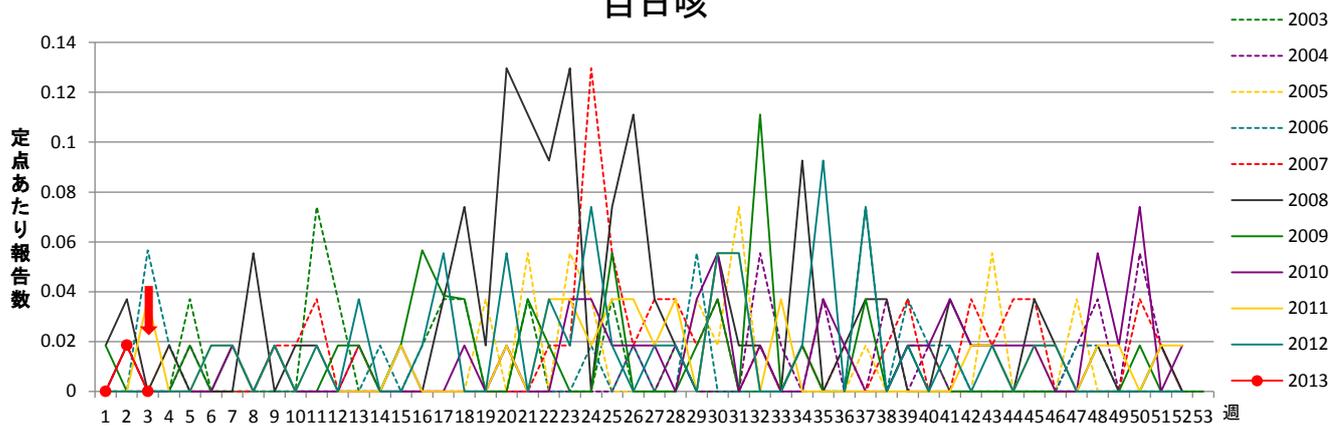
伝染性紅斑



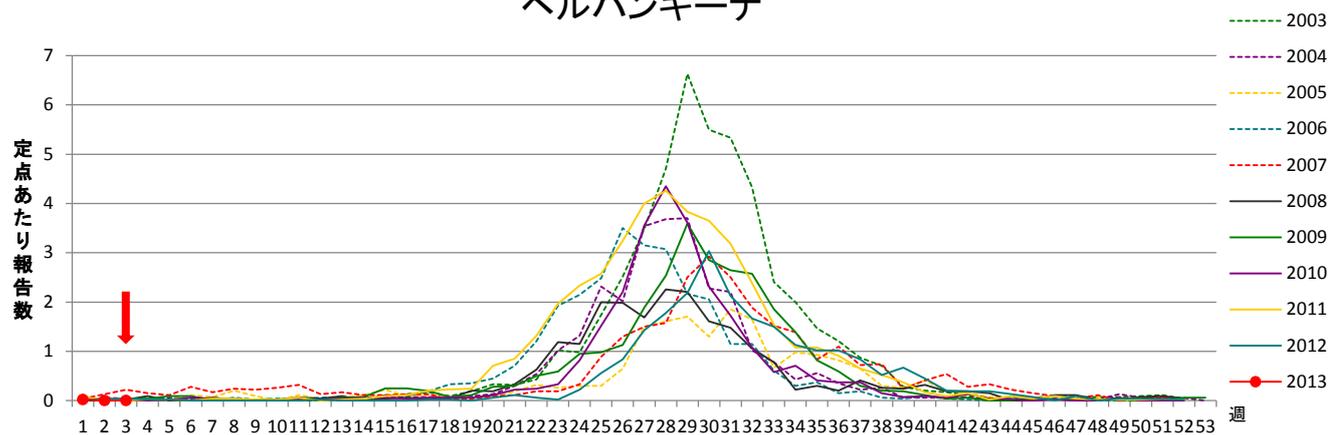
突発性発疹



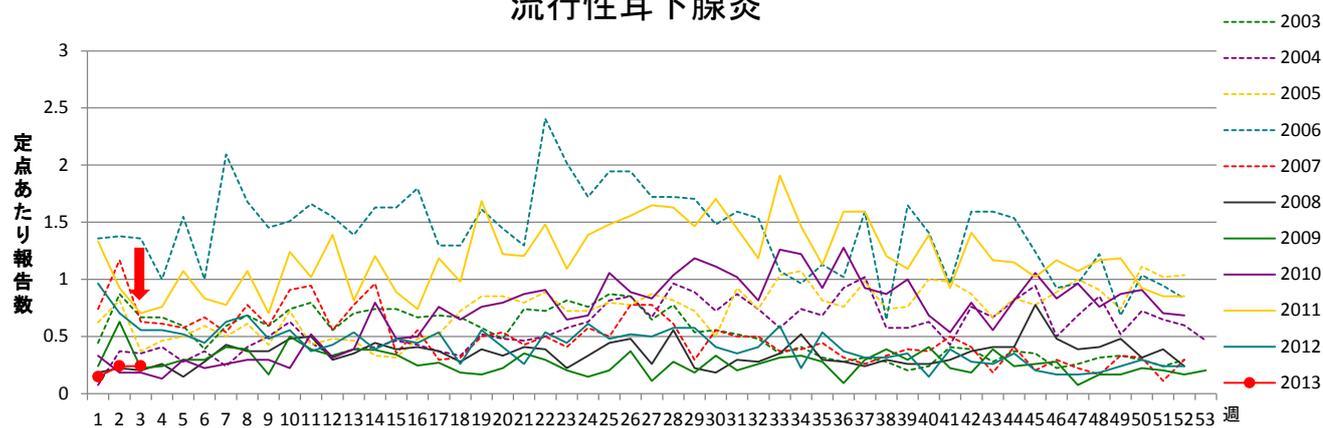
百日咳



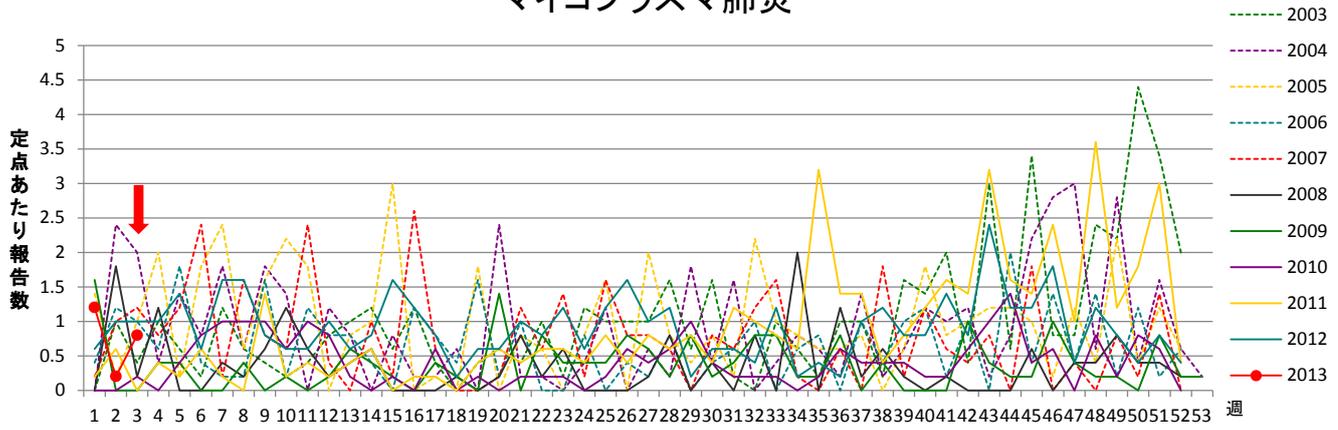
ヘルパンギーナ



流行性耳下腺炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎

